

木曾病院 第2期中期計画・年度計画事業概要について

地方独立行政法人長野県立病院機構

○5年後のめざす姿

- 木曾郡唯一の病院として、地域から信頼される地域完結型の医療拠点施設の役割を担っている。
 - ・ 地域がん診療病院の指定を受け、がん診療均てん化の役割を果たしている。
 - ・ 急性期から慢性期、在宅医療まで地域のニーズに対応した医療を提供している。
 - ・ 職員ひとりひとりがやりがいと自信をもって生き生きと働いている。

○目指すべき病院の姿を実現するための重点目標

- 1 がん診療・検診機能の向上
- 2 救急医療の確保
- 3 糖尿病診療の充実
- 4 在宅医療の拡大・充実
- 5 人材の確保・育成
- 6 業務運営の改善

○患者数及び病床利用率

	H25実績	H26見込み	H27計画値	H31計画値	算定にあたっての基本的な考え方
入院患者数(人)	58,605	53,110	58,170	57,202	平成25年度の実績をベースに当院の年齢別患者構成、木曾地域の患者数の推移から積算した患者数に患者確保努力目標として0.8%を加算。
外来患者数(人)	138,594	133,845	136,700	131,643	平成25年度の実績をベースに当院の年齢別患者構成、木曾地域の患者数の推移から積算した患者数に透析患者の増加見込み及び患者確保努力目標として0.95%を加算。
病床利用率(%)	86.3	78.0	85.7	84.3	入院患者数÷(一般運用病床 138床×365日 + 療養病棟48床×365日)

○財務状況

(単位:千円)

区分	第1期累計	H27計画	第2期計画累計
経常損益	819,337	310,886	1,524,733
純損益	11,942	310,886	1,524,733
資金収支	882,048	257,647	733,197

第2期中期計画での主な取組

第2期中期計画【要旨】	中期計画期間中の主な取組	予算額等
<p>○ 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためにとるべき措置</p> <p>□ 医療・介護サービスの提供体制改革を踏まえた地域医療、高度・専門医療の提供</p> <p>■ 地域医療の提供(須坂、阿南、木曾病院) 地域の中核病院として、初期及び二次医療などの診療機能の充実を図る。 市町村が行う健康増進施策と連携し予防医療等を推進する。</p>	<p>■【拡】糖尿病専門医(非常勤)の確保による糖尿病治療の強化</p> <p>■安全で安定的な透析を行うための医療機器及び職員の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療安全確保のための看護師確保 ・【新】町村の健康増進施策と連携し、公共施設で「地域巡回リハビリテーション」を開催 ・地域における高度専門医療を充実するため、隣接医療圏の医療機関との連携を強化(脳外科手術、心臓手術など) ・予防医療のための人間ドック及び各種検診の充実 	<p>■ 収入:10,012千円、支出:2,582千円(非常勤医師)</p> <p>■ 支出:13,500千円(看護師3名給与)</p>
<p>■ へき地医療の提供(阿南、木曾病院) 町村並びに地域の医療、保健及び福祉との連携のもと、無医地区への巡回診療を行う。また、へき地診療所等からの要請に基づき医師を派遣するなどの支援を積極的に行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の医療、保健及び福祉関係者との連携を強化し、無医地区の医療機能を確保 ・へき地診療所等からの要請に基づき、医師派遣、技術支援等を実施 	
<p>■ 介護老人保健施設の運営(阿南、木曾病院) 阿南、木曾病院の付帯施設として、機能分担と連携を図りながら、適切かつ充実したサービスを提供する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利用可能なサービスに関する広報活動の充実 ・行政機関、社会福祉法等、関係機関との情報交換等を通じてより良いサービスを探求し、提供 	
<p>■ 地域包括ケアシステムにおける在宅医療の推進 関係市町村等と連携し、訪問診療・訪問看護、訪問リハビリなどの在宅医療に積極的に取り組み、地域包括ケアシステムにおける県立病院としての役割を果たす。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・予防医療のための人間ドック及び各種検診の充実 ・住民の健康意識を高める公開講座等の開催 ・【新】町村の健康増進施策と連携し、公共施設で「地域巡回リハビリテーション」を開催 	
<p>■ がん診療機能の向上(須坂、阿南、木曾、こども病院) 専門医療従事者の確保等に努め、がんの治療、療養、社会復帰、緩和ケアなど、質の高い医療サービスを提供する。木曾病院においては、信州大学医学部附属病院との連携を強化し、地域がん診療病院の指定を目指す。</p>	<p>■ がん相談支援センターにおける患者相談、情報提供の推進、がん予防、がん診療支援等の機能を充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者サロンの実施 ・【拡】緩和ケアチームを中心とした緩和ケア外来の運営・充実 ・地域がん診療病院の指定取得、信州大学医学部附属病院との連携によるがん治療、症例検討会、人材交流等の推進 ⇒ 二次医療圏唯一の病院として、がん診療均てん化の役割を強化 	<p>■ 支出:3,440千円(臨床心理士給与)</p>

第 2 期 中 期 計 画 【 要 旨 】	中期計画期間中の主な取組	予算額等
<p>■ 災害医療等の提供</p> <p>木曾病院におけるDMAT(災害派遣医療チーム)や他の県立病院における医療救護チームにより、適切な災害医療活動を行う。ここの医療センター駒ヶ根はDPAT(災害派遣精神医療チーム)の指定病院を目指す。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時におけるDMAT出動、救急救命処置体制の強化 ・災害発生時の出動・救急救命処置体制の強化、災害拠点病院として職員等に対する講演会、勉強会、訓練等の実施 ・関係機関との連携を進め、地域防災訓練への積極的な参加 	
<p>□ 地域における連携とネットワークの構築による医療機能の向上</p> <p>■ 地域の保健、福祉関係機関等との連携の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 地域の医療機関との連携 ◇ 地域の医療機関への支援 ◇ 地域の保健、福祉関係機関等との連携 <p>■ 5病院のネットワークを活用した診療協力体制の充実強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域医療機関との連携による地域連携パスの整備及び患者の紹介・逆紹介の推進による在宅医療機能の強化 ・病院保有の高度医療機器情報を周辺医療機関に提供し、活用を促進 ・学校等で行われる検診、講演会への医師等の派遣 ・医師会の例会会場として病院を開放し、病院医師と医師会会員の連携及び情報交換を推進 ・患者退院後の家族の不安に応えるため、退院時カンファレンスを強化 ・児童虐待マニュアルに沿った役割を果たすための行政・福祉関係者との連絡体制の強化 ・人間ドック及び各種検診の充実を図り、予防医療を推進 <p>【ここ駒 ⇒ 木曾病院】・医師派遣の継続</p>	
<p>□ 人材の確保・育成と県内医療水準の向上への貢献</p> <p>■ 医療従事者の確保と育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 積極的な医療従事者の確保 ◇ 研修体制の充実 ◇ 医療技術等の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒の臨床検査技師及び診療放射線技師等を対象とした研修を実施し、早期に医療技能の向上を推進 ・看護部のシュミレーション教育の充実 ・医師、看護師、医療技術職員の資質向上のための専門資格の取得、大学院等への進学支援 ・計画的な認定看護師の養成 	
<p>■ 県内医療に貢献する医師の育成と定着の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 信州型総合医の養成 ◇ 臨床研修医の受入と育成 	<p>・【拡】木曾医療圏唯一の病院として、指導医・専門医による診療科の垣根に捉われない指導及び地域に貢献できる幅広い診察能力を持った総合医の育成に取り組んでいることを積極的に広報</p>	
<p>■ 県内医療水準の向上への貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 県内医療従事者を対象とした研修の実施 ◇ 医療関係教育機関等への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内医療関係教育機関等での教育を担うため、認定看護師、有資格者を派遣及び実習生の積極的な受入れ ・信州木曾看護専門学校への非常勤講師の派遣及び実習生の受入れ 	
<p>■ 医療に関する研究及び調査の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 研究機能の向上 ◇ 医療に関する臨床研究への参加 ◇ 地域への情報発信による健康増進への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・共同研究等へ積極的に参加し、医療水準向上を推進 ・大学などに、日常診療の指導のみならず、研究を指導できる人材の派遣を依頼し、臨床情報の積極活用を図る ・企業の要請による治験を安全に実施 ・病院が所有している健康維持・増進に係る情報をホームページ、広報紙等で積極的に発信 ・公開講座、出前講座を通じて病院が所有する健康増進等に係る情報を発信 	
<p>□ 県民の視点に立った安全・安心な医療の提供</p> <p>■ より安全で信頼できる医療の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 医療安全対策の推進 ◇ 患者中心の医療の実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療安全への取組状況を医療安全管理者が互いに実施確認し合う医療安全相互点検の実施 ・医療安全チェックシートを活用した院内自己点検の実施と課題把握、改善策の立案を通じた安全体制の再整備 ・インシデント事例分析などをグループワーク形式により学習する医療安全管理者学習会の開催 ・医療安全研修会の内容のDVD化により、繰り返し視聴できる体制を整え、院内研修会で活用 ・職員接遇研修会の実施、セカンドオピニオン外来の推進、クリニカルパスの活用 ・BSC(バランススコアカード)の活用による医療チーム毎の年間目標の明確化により、チーム医療を推進 	
<p>■ 患者サービスの一層の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 患者満足度の向上 ◇ 患者への診療情報の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・患者の意見や要望を病院運営に反映させるために、「意見箱」、窓口相談の設置 ・【拡】電子カルテの更新に合わせ、患者の利便性を図るためのクレジット支払いを導入 ・臨床評価指標や医療の質の指標などの診療情報の整備・充実 ・ホームページ、テレビ等各種広報媒体を利用した広報活動の推進 	
○ 業務運営の改善及び効率化に関する事項		
<p>□ 経営改善の取組</p> <p>■ 収益の確保と費用の抑制</p> <p>■ 情報発信と外部意見の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・診療の質の向上と維持を図るため、診療情報を分析し、診療に反映させる仕組みを確立 ・病院の活動状況、経営状況等を広報メディアを使い積極的に情報発信 ・行政機関、地域住民の代表等を構成員とする運営協議会及び年齢、職業等多岐に渡る住民有志によるモニター会議を開催することで、病院が利用者から直接意見を聞く機会を設定 	